

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

| | |
|--------------|--|
| 研究課題名 | 当院における Stanford B 型 急性大動脈解離診療の長期成績の検討 |
| 研究責任者 | 心臓血管外科 村上弘典、小出昌秋 |
| 研究実施体制 | 当院のみです |
| 研究期間 | 臨床研究審査委員会承認日 から 2023 年 10 月 31 日 |
| 対象者 | 急性大動脈解離 586 例の内、A 型解離症例、来院時心肺停止症例の Ai 検査で大動脈関連死と診断された 48 例を除く B 型急性大動脈解離の 226 例の患者さん |
| 研究の意義・目的 | Stanford B 型急性大動脈解離に代表される大動脈疾患は増加の一途をたどっていますが、保存的加療の遠隔成績が報告される一方で、外科的手術加療の長期成績や胸部ステントグラフト内挿術 TEVAR 加療、また複合的なハイブリッド手術加療成績も報告されるようになりました。本研究の目的は、当院における Stanford B 型急性大動脈解離の加療成績を明らかにし、その介入後の長期的な転帰や外科的加療法の有効性を検討することです。 |
| 研究の方法 | 診療録を後方視的に調査します。 匿名化して取り扱います。 |
| 個人情報の取扱い | 本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 個人情報開示に係る手続き | 個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。 |
| 資料の閲覧について | ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 問い合わせ窓口 | 聖隷浜松病院 心臓血管外科（氏名）村上弘典 TEL:053-474-2222(代表) 心臓血管外科外来 9:00~17:00 平日 |